

アジア・アフリカ言語文化研究所 国際 Zoom シンポジウム
アフリカの若者はどう考え、生きているのか？——教育・失業・美学・政治・シングル性

<<プログラム>>

11月22日(日)

4:30pm (UTC(協定世界時)+9/JST 日本時間, 10:30am (UTC+3/EAT 東アフリカ時間)

8:30am (UTC+1/CET 中央ヨーロッパ時間)

Zoom 参加へのお申込みは、11月20日までをお願いいたします。

登録申し込みリンク : <https://bit.ly/3mSZTFx>

開会の辞、イントロダクション

4:30-4:45pm (JST), 10:30-10:45am (EAT), 8:30-8:45am (CET)

椎野若菜 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)

<Session 1> 若者への教育の影響力

4:45-5:45pm (JST), 10:45-11:45am (EAT), 8:45-9:45am (CET)

クリス・オペセン (マケレレ大学/ウガンダ)

「東アフリカにおける文化的、包括的かつ公平な質の高い教育の側面：女性の性器整形の儀式のポコットの文脈からの民族誌的証拠」

白石壮一郎 (弘前大学)

「モラトリアム期間の出現？現代東アフリカにおける青少年期、不確実性、グローバリズム」

<Session 2> 若者の夢と挑戦

5:55-6:55pm (JST), 10:55-11:55am (EAT), 9:55-10:55am (CET)

椎野若菜 (AA 研)

「ナイロビの『ハウスガール』の人生設計：現実と夢」

萩原卓也 (京都大学)

「人生の次なる舞台へ向かうためのスポーツの活用とソーシャルメディア：ケニアにおけるサイクリストの事例」

<休憩 5 分>

<Session 3> 若者、音楽、そして政治

7:00-8:30pm (JST), 12:00-13:30pm (EAT), 11:00am-12:30pm (CET)

ピオツ・チホスキ (ワルシャワ大学、ポーランド)

「若いムジンバの音：マラウイの電子音楽の（不）物質的なつながり」

ナンナ・シュナイデルマン (アーフス大学、デンマーク)

「政治機関、後援、市場関係のはざまにいるウガンダのミュージックスターたち：選挙時における文化的仲介とデジタルの「大きさ」。」

イアン・カルシガリラ (東京外国語大学大学院)

「歴史と脅威を通じて現代の政治的絶対主義に立ち向かう：美学、LGBTI+、ウガンダの若者運動」

8:40pm~9:00pm (JST), 1:40-2:00pm (EAT), 12:40~1:00pm (CET)

質疑応答、討論

ディスカッサント

ラバン・キジンジ・キニユア (日本学術振興会・法政大学)

ピーター・アテキエレザ (マケレレ大学・ウガンダ)

閉会の辞

白石壮一郎 ・ 椎野若菜